

西脇市保育士等キャリアアップ研修（保護者支援・子育て支援分野）

受講者感想（2022.8.6） 抜粋

○鶴先生からの話を聞き、改めて保護者の気持ちを受け止めて話を聞くことや、自己決定を促して尊重するという大切さに気付きました。保護者が安心して話ができるように、良い聞き手になることを意識し、子どもの成長の喜びを伝え合い、気持ちを共有していきたいです。また、かわり行動チェックリストを見て、視線・表情・姿勢・うなずき・声等、心がけることができる項目がいくつもあったので、意識して取り組みたいと思いました。

○グループワークでは、同じ園の職員とじっくり考えたり、日々の保護者対応を振り返ったりできました。様々な困難な背景を抱える家庭が増える中、悩むこともあります。鶴先生から、コミュニケーション、面接技法も教えていただいたので、園内で事例検討・ロールプレイ等の研修も重ねていきたいと思えます。

○支援計画をたてる際に、問題・目標・具体的な支援内容・役割分担等を検討し、支援していくことで、保護者に対してより明確に支援していけることを学びました。保護者の状況、環境、立場にかかわらず、保育者が先入観をもたず、保護者の存在をありのままに受けとめ、理解していくことも大切だと思いました。

○感情表現について意識したことはありませんでしたが、マイナスな感情も含めて、引き出して聞くことが大切だと分かりました。子どものことだけに目が行きがちですが、保護者支援していくことで、より良い子ども支援、保護者支援へとつながっていくのだと感じました。

○研修のはじめに、鶴先生から、前回の内容を振り返る機会を作っていただいたことで、ポイントを復習することができました。“かわり行動”や“質問技法”“明確化技法”の話では、保護者とのやりとりや日々の会話のポイントを学ぶことができたので、保護者とのより良い関係を築いていけるよう、努めていきたいです。

○私自身、保護者の方とのコミュニケーションが苦手で、うまく話すことができにくいです。この研修で、どういう風に質問をすればいいのかわかり、相槌はどうすればいいのかわかり等、詳しく学ぶことができたので、コミュニケーションを十分にとり、保護者としっかり信頼関係を築いていけるようにしていきたいです。

○子育て支援事業についても調べたり考えたりする時間があり、1つの問題でも目的や目標が異なることでさまざまな支援事業があることが分かりました。支援計画作成のグループワークでは、子どもに対しての支援、保護者に対しての支援を考える際、どのような施設や社会資源があるのかを改めて知ることができました。鶴先生が、西脇市で利用できる社会資源も調べてくださったので、より具体的に分かることができました。

○マスク生活で、表情が読み取りにくい中、保護者への伝え方や言葉の選び方等、気を付けないといけないように感じました。園で働く側として、話し方、視線等、意識する必要性を感じました。保護者を支えることが子どもを支えることに、また、子どもを支えることが保護者を支えることになることが分かりました。

○研修を通して、保護者に対する相談援助とは、バイステックの7原則や、プロセスを意識し計画的に進めていくことが大切だと感じました。また、地域子育て支援により、子育ての「場」ができ、主体的に子育てができるようになることも学びました。『保育者がいかに良い聞き手になること』という言葉が心に残りました。

○保護者の話をよく聞き、感情を受け止めることが大切だと分かりました。保護者自身が話したくなるような雰囲気作りをし、気持ちを受け止め、共感し、安心できるような言葉かけができるよう、今後心がけたいと思いました。

○今回は事例をもとにグループで話し合う機会が多くあり、色々な意見が聞けてとても良かったです。特に、面談で聞くべき必要な内容をどの順番で聞くべきかが、とても参考になりました。具体的な支援内容を検討する際、目に見える支援を多く考えてしまいがちですが、心のケアや孤立させない繋がりをもつ大切さを再確認できました。

○具体的は事例を通して、様々な社会福祉事業があることが分かった。必要な支援ができるように、社会資源の把握や、研修や見学等をしていきたいと思った。支援とは良い聞き手になることが大事、保護者自ら自身と向き合い「気づき」と「成長」を見出し、乗り越える支援をしていきたいです。
(栄養士)

○保護者との関係の上で、意見を伝えるだけでなく、保護者が自分で気づき、考えてもらえる手伝いをするのが支援につながることに、保護者やその子どもにとっての問題解決につながることを勉強できました。
(事務職員)

市外参加者

○講義中にグループワークがあり、自分たちで考えることで、鶴先生の話がより深く理解できたように思います。年々支援に必要な保護者が増えており、対応に悩むことが多いのですが、今日学んだ技法を活用していきたいと思いました。今日学んだ事を園職員に伝え、ワークも実践し、個々の能力を高める努力をしていきたいです。

○保護者相談での聞き方が、いつも難しいと感じていたもので、今回の研修で、話をしやすい雰囲気や姿勢・技法等を学ぶことができてよかった。保護者に対して「〇ちゃんのお母さん」ではなく名前と呼ぶことで、一人の人間として大切に扱っていることが伝わりやすいことを知ったので、今後意識していきたいです。

○今回の研修で、自分はどのような時に感情が動きやすいのか把握していないことに気がついた。自己理解・自己認識をして、冷静な立場で、相手の話を聞くことができるようにしていこうと思いました。

○グループワークでは、園全体の考えを共有でき、大変有意義な時間になりました。特に、保護者対応での明確化技法の中の繰り返し、言い換え、要約技法は大変勉強になり、対応時、言葉足らずになったり、話をしすぎたりすることにも気づくことができました保護者が前向きに子育てできるよう、自分自身の専門性を高めていきたいです。

○これまで、保護者の相談内容に対して、保育者は明確なアドバイスをしないといけないという思いが強く、苦手意識をもっていました。支援とは「よい聞き手になることから始まる」という言葉を聞き、また相談とは、保護者が自らの力に気付いたり、主体的に子育てや問題解決に取り組んだりする過程だということ学びました。